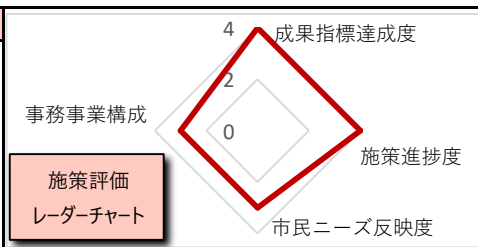


令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 2 - 1		
基 本 事 項	施策名	第1節 市民が参加する福祉のまちづくり	所管部署名	こども福祉部		
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）	評価責任者	伴 茂樹		
	施策小項目	1 地域福祉活動の支援		関連部署名(1)	こども福祉部地域福祉課	
		2 福祉意識の醸成		関連部署名(2)		
		3 支援体制の構築		関連部署名(3)		
			関連部署名(4)			
施策の目的	だれもが住み慣れた地域で自立した生活を送れることをめざす。		役割分担	市民の役割	地域での助け合いなどについて理解を深めるとともに、身近なところから自ら何ができるかを考え、主体的に地域福祉活動に参加することに努める。	
施策に関する個別計画	第3次吉川市地域福祉計画（平成29年度～令和3年度）			行政の役割	地域福祉の担い手としての市民の参画を基本とし、地域の実情やニーズを把握し、地域連帯意識の高揚などの環境づくりを支援する。	
	吉川市自殺対策計画（平成31年度～令和5年度）					

区分	指標名（上段）	単位	設定時の値	実績値① （年度）	実績値② （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）						
①	要援護者見守りネットワークの協定事業所数	事業所	57	96	129	A	120
	増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3

施策の評価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（50~80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	評価の理由・説明	見守りネットワークの協定事業所数は、最終年度には最終目標値以上の達成となった。	4点
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		多様なニーズ全てに対し反映することは難しい面があるが、各事業において、市民ニーズを把握しながら事業を推進している。	3点
施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		市民参加による地域福祉活動などにより、施策の目的を達成するに概ね妥当な事務事業構成である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点
施策に関する現状と課題	社会構造の変化から「自助」「共助」「公助」の要となる地域のつながりの希薄化や、住民が抱える生活課題の複雑化、複合化により問題が深刻化するケースが懸念されることから、地域活動へのより一層の参加支援や多様な主体とのネットワークづくり、制度や分野を超えた横断的な相談体制や居場所づくりなど地域共生社会に向けた取り組みを進めていくことが必要である。		総合評価 4点 評価軸①～④の評価点の平均点	



令和4年度 施策評価シート 《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 2 - 2		
基 本 事 項	施策名	第2節 未来を育む児童福祉の推進		所管部署名	こども福祉部	
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり (健康福祉部門)		評価責任者	伴 茂樹	
	施策小項目	1	地域における子育ての支援		関連部署名(1)	こども福祉部子育て支援課
		2	子どもの健やかな成長の支援		関連部署名(2)	こども福祉部保育幼稚園課
		3	子育て環境の整備		関連部署名(3)	
				関連部署名(4)		
施策の目的	子どもたちが健やかに自分らしく成長できる地域社会を築く			役割 市民の役	地域の子どもや子育て家庭への見守りや支援に努める。	
施策に関する個別計画	第2期吉川市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～令和6年度)				役割 行政の	・全ての子育て世帯に配慮した制度や施設の整備充実を図る。 ・制度等の周知広報に努め、保護者の理解を深める。

区分	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)							
指 標	①	児童館の利用人数	人	30,149	14,619	21,891	D	31,700
		増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3
	②	子育て支援センターの利用人数	人	26,696	12,366	17,082	D	28,301
		増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3
	③	保育所の待機児童数	人	30	10	9	C	0
		減少することが良いとされる指標		H28	R2	R3		R3

評価軸		評価方法	評価点
指標達成状況	①	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数 1点
施策の進捗状況	②	<input type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない (50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	新型コロナウイルス感染症の影響から、児童館及び子育て支援センターにおいては令和2年3月中閉館、その後現在まで利用制限をかけながら運営しているため、施策の進捗状況に影響が出ている。 2点
市民ニーズの反映度	③	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	児童館や子育て支援センターについては、利用制限をかけながら実施しているため利用数は減少しているものの、利用者にアンケートを実施したうえで魅力のある事業を展開しているため、市民ニーズを反映した事業を展開できている。 3点
施策に対する事務事業の構成	④	<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	子どもたちが健やかに自分らしく成長できる地域社会を築くうえで、様々な視点からきめ細やかに各取組を推進できるよう、事務事業を設定しており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照 3点
施策に関する現状と課題		第2次子ども・子育て支援事業計画に基づき、地域で安心して妊娠、出産、子育てできる環境づくりなど、総合的な子育て支援体制の充実に努めてきたところである。待機児童の解消については、これまで保育施設の新設など保育提供量の確保に努めた結果、待機児童数の減少につながっているが、保育ニーズの高まりから待機児童を解消するまでに至っていない。	<p>総合評価 3点</p> <p>評価軸 ①～④の 評価点の 平均点</p>

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値			
構	1	303203	子ども医療費支給事業	2	子ども医療費の助成額	千円	258,000.0	249,484.0	手段を改善
	2	303204	ひとり親家庭等医療費支給事業	2	ひとり親家庭等医療費の助成額	千円	13,750	12,182	手段を改善
	3	303102	児童虐待防止対策事業	1	要保護児童対策地域協議会での管理ケース数	件	30	35	拡大
成	4	303108	子どもの貧困対策推進事業	1	就職決定者数	人	3	6	現状のまま継続
	5	304103	民間保育所保育委託事業	1	入所待ち児童数	人	0	9	現状のまま継続
	6	304102	利用者支援事業	1	保育施設の入所待機となった児童数	人	0	9	現状のまま継続
す	7	304104	民間保育所特別保育支援事業	1	低年齢児(0歳・1歳)保育実施保育園数	所	12	12	手段を改善
	8	304203	学童保育事業	1	学童保育室入室待機児童数	人	0	0	手段を改善
	9	304107	地域型保育給付事業	1	地域型保育給付費	千円	336,452	294,982	現状のまま継続
る	10	304201	市立保育所管理運営事業	1	市立保育所入所率	%	110	90	手段を改善
	11	304105	施設型給付事業	1	施設型給付費	千円	153,459	125,262	現状のまま継続
	12	303205	ひとり親家庭等自立支援事業	1	相談受付件数	人	150	150	現状のまま継続
事	13	303402	ファミリーサポートセンター運営事業	1	協力会員・両方会員合計人数	人	280	280	現状のまま継続
	14	303206	児童扶養手当支給事業	1	一部支給停止事由該当者数(減額適用)	人	0	4	現状のまま継続
	15	303207	児童手当支給事業	1	制度利用率	%	92	92	現状のまま継続
務	16	303107	家庭児童相談事業	1	相談受付件数	人	700	858	他の事業に統合
	17	403303	乳児家庭全戸訪問事業	1	乳児家庭訪問率	%	85.0	96.0	現状のまま継続
	18	303401	子育て支援センター運営事業	1	子育て支援センター(おあしす)利用者	人	4,000	4,302	現状のまま継続
業	19	403304	子育て世代包括支援センター運営事業	1	専門非常勤職員従事期間	月	12	12	現状のまま継続
	20	304101	保育充実事業	1	病児・病後児保育利用者数	人	169	21	現状のまま継続
	21	304108	地域型保育補助事業	1	延長保育実施保育所数	所	7	7	手段を改善
業	22	303201	児童健全育成事業	1	助産施設実施割合	%	100	100	現状のまま継続
	23	303302	児童館運営事業	1	事業参加者数	人	13,000	7,530	現状のまま継続
	24	303301	児童館施設管理事業	1	児童館利用者数	人	32,500	21,891	現状のまま継続
業	25	303103	子ども・子育て支援事業計画推進事業	1	計画の進捗率(幼児期の学校教育・保育)	人	0	10	現状のまま継続
	26	303104	ホームスタート事業	1	ホームスタート訪問件数	件	30	32	現状のまま継続
	27	303105	産前・産後ヘルプサービス事業	1	産前・産後ヘルプサービス利用回数	回	120	19	現状のまま継続
業	28	304202	一時保育運営事業	1	一時保育利用件数	人	1,500	470	手段を改善
	29	304106	施設型給付補助事業	1	延長保育実施保育所数	所	1	1	手段を改善
	30	304109	施設等利用給付金給付事業	1	施設等利用給付額	千円	373,185	346,156	現状のまま継続
業	31	303106	緊急サポート事業	1	利用件数	件	40.0	31.0	現状のまま継続
	32	303101	児童ショートステイ事業	1	ショートステイ利用日数	日	5.0	0.0	現状のまま継続
	33	303303	天文科学運営事業	1	プラネタリウム観覧者数	人	3,000	2,181	現状のまま継続
業	34	303202	青少年相談員活動推進事業	1	事業参加者の青少年相談員に対する満足度	%	100.0	100.0	現状のまま継続
	35	303304	母親クラブ支援事業	1	母親クラブ合同事業参加率	%	75.0	61.3	現状のまま継続

特記事項
 児童館と子育て支援センターについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月2日から6月14日まで閉館としていた。6月15日以降は、一部利用制限を設けつつ、引き続き現在も感染拡大防止を図りながら開館している。

今後の展開
 児童館と子育て支援センターの運営に関しては、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底しながら、今後も市民ニーズを的確に捉え、地域で子育てを支える体制づくり、子どもの健やかな成長の支援、子育て環境の充実を図っていく。
 待機児童の解消に向けては、引き続き、保育提供体制を維持するとともに、保育幼稚園課に1名配置する保育コンシェルジュの相談支援などにより、保護者ニーズと空きのある保育施設を可能な限り結び付け最適な利用調整を行う。

令和4年度 施策評価シート 《令和2年度・令和3年度評価》

評価日	令和4年10月31日	No.	2 - 3
-----	------------	-----	-------

基本事項	施策名	第3節 いきいき暮らせる高齢者福祉の推進	所管部署名	健康長寿部	
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）	評価責任者	小林 以津己	
	施策小項目	1 高齢者の社会参加の促進		関連部署名(1)	健康長寿部長寿支援課
		2 高齢者の日常生活の支援		関連部署名(2)	こども福祉部地域福祉課
		3 介護予防の充実		関連部署名(3)	
4 介護保険事業の充実			関連部署名(4)		
施策の目的	高齢者が安心して住み慣れた地域でいつまでも自立した生活ができることをめざす。		役割分担	市民の役割 高齢者がいつまでも住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう、心身の健康管理に努める。	
施策に関する個別計画	第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画（令和2年度～令和5年度）				行政の役割 高齢者の生きがいづくりと健康づくりのために、心身の健康の維持増進のための事業を推進する。

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値① （年度）	実績値② （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）							
①	65歳以上人口に対する要介護等認定者の割合		%	12.2	13.4	14.1	A	15.1
	目標値を下回ることが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3
指標								

評価軸	評価方法		評価点
	① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
② 施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（50～80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	評価理由説明 ・市民フォーラムを開催し、多くの高齢者は住み慣れた地域で暮らしていることを望んでいることがわかった。 ・各地域での課題を洗い出し必要な支援を検討する勉強会を開催することができた。 ・高齢者が自立して住み慣れた地域で生活していくための施策を展開するための事業が設定されている。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		4点
④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点

評価	施策に関する現状と課題		総合評価
	<p>高齢者がいつまでも健康で住み慣れた地域で暮らすため、地域でのつながりや支えあいつくり、また、高齢者自身の健康づくりのための施策として妥当であるとする。いきいき運動教室や地域型介護予防教室などの運動教室は、運動の習慣化を目的としており、高齢者の健康づくりに役立っている。</p> <p>また、地域の支えあいつくりとして各地域において核となる人材の発掘や育成を行うことで地域での課題解決に向けた取り組みを進めている。引き続き、高齢者の健康づくりの機会を提供するとともに、生きがいや人のつながりづくりを進める必要がある。</p>		4点
			評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

構 成 す る 事 務 業	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値	
構 成 す る 事 務 業	1	401121	いきいき運動教室等介護予防事業	1 介護予防教室参加者率	%	98.0	93.0	現状のまま継続
	2	401123	地域型介護予防事業	1 地域型介護予防事業実施自治会数	団体	45	46	現状のまま継続
	3	401126	地域包括支援センター事業	1 地域包括支援センター相談件数	件	3,075	2,936	現状のまま継続
	4	401128	生活支援体制整備事業	1 生活支援コーディネーター活動件数	回	25	26	現状のまま継続
	5	401125	ふれあいデイサービス事業	1 サービス延べ利用回数	日	3,680	1,956	手段を改善
	6	401122	アクティブシニア社会参加支援事業	1 シニア元気塾参加者数	人	400	569	現状のまま継続
	7	401120	介護予防・日常生活支援総合事業	1 新しい総合事業検討会議の開催回数	回	3	0	現状のまま継続
	8	401119	老人福祉センター管理運営業務	1 老人福祉センター利用者数	人	35,000	14,270	現状のまま継続
	9	401124	介護ボランティア活動支援事業	1 介護支援ボランティア手帳交付数	人	134	60	現状のまま継続
	10	401117	シルバー人材センター支援事業	1 就業実績契約金額	円	223,200,000	206,047,347	現状のまま継続
	11	401116	高齢者生きがいづくり活動事業	1 スポーツ大会延べ参加者数	人	900	0	現状のまま継続
	12	401129	認知症総合支援事業	1 認知症サポーター人数	人	400	307	現状のまま継続
	13	401111	外出支援サービス事業	1 サービス延べ利用回数	回	300	195	現状のまま継続
	14	401112	無料入浴券支給事業	1 無料入浴券利用枚数	枚	15,500	13,641	廃止・休止
	15	401114	在宅高齢者介護支援手当支給事業	1 手当支給総額	円	540,000	400,500	現状のまま継続
	16	401115	高齢者世帯賃貸住宅家賃助成事業	1 家賃助成金支給総額	円	8,400,000	9,156,100	現状のまま継続
	17	401118	高齢者配食サービス事業	1 配食サービス延べ実数	食	27,960	27,746	現状のまま継続
	18	401131	成年後見人利用支援事業	1 審判請求を行った件数	件	3	2	現状のまま継続
	19	401130	介護相談員活動事業	1 介護相談員訪問率	%	100.0	0.0	現状のまま継続
	20	401133	介護支援用品支給事業	1 給付総額	円	1,293,000	1,282,988	現状のまま継続
	21	401132	位置情報提供サービス利用支援事業	1 位置情報提供システム利用件数	件	900	690	手段を改善
	22	401107	買い物支援利用助成事業	1 サービス延べ利用回数	回	150	75	現状のまま継続
	23	401106	生活安心ヘルプサービス事業	1 サービス延べ利用時間数	時間	90	0	現状のまま継続
	24	401105	寝具洗濯乾燥サービス事業	1 サービス利用回数	回	4	5	現状のまま継続
	25	401104	日常生活用具給付事業	1 サービス利用者数	人	20	12	現状のまま継続
	26	401103	日常生活サポートサービス事業	1 サービス延べ利用時間数	時間	1,000	104	現状のまま継続
	27	401109	くらしアップデイサービス事業	1 サービス延べ利用日数	日	48	0	現状のまま継続
	28	401110	緊急時通報システム貸与事業	1 緊急時通報システムの稼働件数	件	460	435	現状のまま継続
	29	401108	生活支援ショートステイサービス事業	1 サービス延べ利用日数	日	5	0	現状のまま継続
	30	401101	老人福祉施設措置事業	1 老人福祉施設入所措置者数	人	1	1	現状のまま継続
	31	401102	介護福祉推進協議会運営事業	1 協議会出席率	%	100.0	76.9	現状のまま継続
	32	401301	介護認定審査事業	1 延期通知の割合	%	3.0	2.5	現状のまま継続
	33	401201	介護保険給付事業	1 介護保険給付費	千円	3,599,941	3,621,462	現状のまま継続
	34	401203	介護保険利用料助成事業	1 年度負担補助総額	千円	15,409	15,986	現状のまま継続
	35	401204	事業所指定・指導監督事業	1 市指定の事業所で発生した重大な介護事故件数	件	0	0	現状のまま継続
	36	401205	介護給付適正化事業	1 介護保険給付費	千円	3,599,941	3,621,462	現状のまま継続
	37	401202	介護保険賦課徴収事業	1 現年度保険料収納率	%	99.3	99.3	現状のまま継続

特
記
事
項

・介護予防運動教室として、いきいき運動教室は市内6会場で全18コース（1コース15回）実施した（参加者：令和2年度=876名、令和3年度=790名）。はつらつ運動教室は市内2会場で全8コース（1コース15回）実施した（参加者：令和2年度=117名、令和3年度=103名）。

・高齢者が自立し安心して暮らせるよう地域包括支援センターによる相談業務等を実施した。独居高齢者世帯及び高齢者のみ世帯の心身の状況の把握並びに生活実態の把握、実態把握に基づいて、高齢者の心身の状態等にに応じたサービス、機関、制度につながるよう相談・支援等を行う。また、自治会単位で、実情や課題の把握を行う地域ケア会議を開催した。

今
後
期

高齢者自身の健康づくりにつなげるため、健康寿命の延伸、介護を必要としない健康な身体づくりを推進するための手法として、フレイル予防を実施する。
また、地域の支え合いづくりの一環として、住民主体で生活支援や外出支援などに取り組む自治会等への支援を行っていく。

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 2 - 4		
基 本 事 項	施策名	第4節 みんなが支えあう障がい者（児）福祉の推進	所管部署名	こども福祉部		
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）	評価責任者	伴 茂樹		
	施策小項目	1 障がい者の地域生活の支援		関連部署名(1)	こども福祉部障がい福祉課	
		2 保健・医療との連携		関連部署名(2)	健康長寿部健康増進課	
		3 障がい者の社会参加の促進		関連部署名(3)		
			関連部署名(4)			
施策の目的	障がい者が地域の中で地域の人々と安心して暮らせる社会をめざす。		役割分担	市民の役割	障がいがある人もない人も互いに尊重し、共生する社会の実現に努める。	
施策に関する個別計画	第4次吉川市障がい者計画（平成30年度～令和5年度） 第5期吉川市障がい福祉計画（平成30年度～令和5年度）					行政の役割

区分	指標名（上段）	単位	設定時の値	実績値① （年度）	実績値② （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）						
①	一般企業等に就職を希望し、実際に就労できた人数の割合	%	56.3	73.0	66.7	C	70.0
	増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3
②	地域移行支援、地域定着支援を受けた人数の合計	人	9	12	13	D	20
	増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3
③							
④							

施策の評価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 3点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない（50~80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	評価理由・説明 障がい者の一般就労は、H27年度と比較すると改善がみられるが、年度によりばらつきがある。また、地域移行や地域定着は、施設や病院から少しずつではあるが地域生活に移りつつある。両者とも、その進捗は順調とは言えない。 吉川市障がい者の地域での生活を考える検討会議で、障がい者へのアンケートを実施し、就労やグループホームなどのニーズがあることを把握したが、その対応策を検討している段階であり実績に反映できなかった。 障がい者の自立と社会参加を支援するために必要な事務事業であり、構成は妥当と考える。また、障がい者理解も重要なことから、同時に取り組む必要がある。 ※構成する事務事業については裏面を参照	2点	
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		2点	
施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		3点	
施策に関する現状と課題	みんなが支えあう障がい者(児)福祉の推進を目指し、「保育所等訪問支援事業」の開始や「障がい者が愛着のある吉川市で親亡き後も安心して暮らしていくためのサポート基金」の設置、「障がい者就労促進支援金交付要綱」制定など、障がい福祉サービスの充実や独自支援策などの充実に努めてきた。今後は、増加傾向にある障がい者や親亡き後の対策などとともに、障がい者に対する理解促進を図っていくことが重要となってくる。		総合評価	
評価	成果指標達成度 事務事業構成 施策進捗度 市民ニーズ反映度 施策評価レーダーチャート			2点
				評価軸①~④の評価点の平均点

構 成 す る 事 務 事 業	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値	
	1	302211	障がい者計画推進事業	1 第4次吉川市障がい者計画実施率	%	90.0	80.0	現状のまま継続
	2	302201	障がい者相談支援事業	1 相談実施件数	件	3,200	4,586	現状のまま継続
	3	302202	障がい者就労支援事業	1 一般事業所等へ就職した障がい者の人数	人	20	12	手段を改善
	4	302212	障がい者交流促進事業	2 「屋内スポーツ大会」参加者数	人	200	-	手段を改善
	5	302223	介護・訓練等給付事業	1 居宅サービス等利用時間数	時間	5,800	4,634	現状のまま継続
	6	302301	こども発達センター運営事業	1 利用者数	人	2,400	2,169	拡大
	7	302206	補装具費支給事業	1 補装具給付総額	千円	14,000	10,252	現状のまま継続
	8	302210	障がい者(児)日常生活用具給付事業	1 給付件数	件	1,300	1,379	現状のまま継続
	9	302209	入浴サービス事業	1 利用回数	回	850	762	現状のまま継続
	10	302217	障がい児(者)一時介護支援事業	2 日中一時支援事業利用者数	人	500	452	現状のまま継続
	11	302216	移動支援事業	2 移動支援事業利用時間(総数)	時間	3,300	1,138	現状のまま継続
	12	302205	自立支援医療支給事業	1 更生医療給付総額	円	75,000,000	71,063,753	現状のまま継続
	13	302215	生活訓練事業	1 生活訓練等事業の参加者数	人	180	127	現状のまま継続
	14	302207	地域活動支援センター事業	1 センターの利用日数	日	1,800	1,207	現状のまま継続
	15	302104	福祉タクシー・自動車燃料助成事業	1 利用件数	件	24,300	25,830	現状のまま継続
	16	302208	緊急時通報体制整備事業	1 新規利用者数	人	2	0	現状のまま継続
	17	302214	意思疎通支援事業	2 手話通訳者派遣回数	回	130	125	現状のまま継続
	18	302204	発達障がい児(者)支援事業	1 巡回支援実施者	人	120	117	手段を改善
	19	302101	重度心身障害者医療費給付事業	1 支給金額	千円	134,500	121,173	手段を改善
	20	302102	在宅重度心身障害者手当支給事業	1 手当支給額	千円	34,500	33,310	現状のまま継続
	21	302103	特別障害者手当等支給事業	1 特別障害者手当等支給額	千円	28,000	26,132	現状のまま継続
	22	302218	吉川フレンドパーク支援事業	1 利用者数(就労継続支援B型事業)	人	35	31	他の事業に統合
	23	302219	ひだまり支援事業	1 利用者数(就労継続支援B型事業)	人	40	32	他の事業に統合
	24	302220	中川の郷支援事業	1 新規入所人数	人	1	1	他の事業に統合
	25	302222	介護給付審査事業	1 二次審査において区分変更になった件数	件	3	2	現状のまま継続
	26	302221	成年後見人制度利用助成事業	1 実績件数	件	1	0	現状のまま継続
	27	302224	障がい者安心暮らしサポート基金積立事業	2 一般事業所等へ就職した障がい者の人数	人	20	15	手段を改善
	28	302203	障害者手帳交付支援事業	1 障がい者増加人数	人	90	70	現状のまま継続
	29	302213	寝具乾燥サービス事業	1 延べ利用回数	回	1	0	現状のまま継続

特記事項 コロナ禍の影響で、介護・訓練等給付事業の介護サービスや移動支援事業、重度心身障害者医療費給付事業など、人との接触や外出を伴う事業は成果指標の目標値を下回るとともに、屋内スポーツ大会などのイベントは中止せざるを得なかった。令和2年度は、障がい者家族からいただいた寄附金を原資に「障がい者が愛着のある吉川市で親亡き後も安心して暮らしていくためのサポート基金(ノブくんスマイル基金)」を設置し、令和4年度に「吉川市障がい者就労促進支援金」制度を設け、障がい者が職場実習などを行う際の交付金に活用している。令和3年度は、こども発達センターで「保育所等訪問支援事業」が開始され、保育所や幼稚園などへ訪問し、先生方に子どもとの関わり方などの支援を行うとともに、児童福祉法に定める「児童発達支援センター」として指定され、令和4年度からは「障害児相談支援事業」が新たに開始されている。

今後の展開 令和5年度で「第4次吉川市障がい者計画」の計画期間が満了するため、令和6年度からスタートする「第5次吉川市障がい者計画」の策定に取り組み、当計画に則した施策を展開していく。障がい者理解を広げるため、あいサポート運動を積極的に活用し、ひとりでも多くの方に障がい者の特性を理解してもらえるよう、引き続き研修会を実施する。障がい者の就労支援については「吉川市障がい者就労促進支援金」制度の周知を図り、障がい者を雇用していただける企業の開拓に努めるとともに、制度の内容について検証していく。福祉タクシー・自動車燃料助成事業のタクシーチケットや燃料券の配布には、来庁から郵送に改めるよう予算を含めた事務手順の変更などについて手続きを進めていく。

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日	令和4年10月31日	No.	2 - 5
-----	------------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第5節 生涯を通じた健康づくりの推進	所管部署名	健康長寿部	
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）	評価責任者	小林 以津己	
	施策小項目	1 食育の推進	5 歯科口腔保健の推進	関連部署名(1)	健康長寿部健康増進課
		2 母子保健の充実		関連部署名(2)	
		3 生活習慣病予防の推進		関連部署名(3)	
4 感染症予防の推進			関連部署名(4)		
施策の目的	市民が生涯にわたり心身ともに健康でいきいきと生活することをめざす。		役割分担	市民の役割 心身ともに健康に生活できるよう、自らの健康管理に努める。	
施策に関する個別計画	第2次吉川市健康増進計画（平成25年度～令和5年度）				行政の役割 生活習慣病やがんにならないように健康診査やがん検査の受診を啓発し、早期発見と保健指導による健康維持を支援する。 妊婦健診や乳幼児健診などにより母子の健康と子どもの健やかな成長を支援する。
	第2次吉川市食育推進計画（平成29年度～令和5年度）				

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値① （年度）	実績値② （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）							
①	特定保健指導実施率		%	47.5	45.7	41.5	D	60.0
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3
標								

施 策 の 評 価	評価軸①	評価方法		評価点	
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。		合計点は 1点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	1点
	評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（50～80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	評価理由・説明 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団での結果説明会を開催しないなどの影響を受け、特定保健指導実施率が減少した。施策を構成する他事務事業においても同様な影響を受けたものもあるが、ウォーキング推進事業など指標が増加したものもある。 誰もが願う健康な日常を実現するための手段として健康診査と保健指導は市民ニーズを反映している。 健康な日常生活実現に資するための、多角的な事業構成となっている。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点	
	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		4点	
	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点	
施策に関する現状と課題				総合評価	
新型コロナウイルス感染状況など、事業を取り巻く環境を考慮し、実施体制を工夫することで取り組みを進めていく。		事務事業構成 施策評価 レーダーチャート		3点	
			評価軸①～④の評価点の平均点		

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 2 - 6		
基 本 事 項	施策名	第6節	スポーツによる健康・体力づくり	所管部署名	健康長寿部	
	まちづくり目標	第2章	元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）	評価責任者	小林 以津己	
	施策小項目	1	健康・体力づくりの推進		関連部署名(1)	健康長寿部スポーツ推進課
		2	スポーツ、レクリエーション活動の支援		関連部署名(2)	健康長寿部健康増進課
		3	スポーツ環境の整備		関連部署名(3)	
				関連部署名(4)		
施策の目的	市民が、心身の健全な発達と健康保持ができるよう、だれもがいつでもどこでもスポーツに親しむことができる環境づくりをめざす。			役割分担	市民の役割 自らの健康の保持増進を図るため、スポーツに対する関心及び理解を深め、スポーツ活動への参加に努める。	
施策に関する個別計画	吉川市スポーツ推進ビジョン（令和2年度～）					行政の役割 スポーツに対する市民の関心と理解を深め、スポーツへの参加及び支援を促進するよう努めるとともに、スポーツ施設の安全の確保、利便性の向上を図るよう努める。

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値① （年度）	実績値② （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）							
①	20歳以上で、週1回以上運動やスポーツを行っている割合		%	49.3	50.4	50.9	D	58.7
	増加することが良いとされる指標			H28	R2	R3		R3
②	総合体育館（会議室、トレーニング室を除く）の稼働率		%	58.3	70.9	44.1	D	62.9
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3

施策の評価	評価軸①		評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。		合計点は 2点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない（50~80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）		評価の理由・説明	「スポーツ実施率」についてはコロナ禍において市民の活動量が減少しており、目標値の達成に至ることが出来なかった。「総合体育館の稼働率」は、令和3年度にまん延防止措置期間等の直前キャンセルを可としたため、利用者の自主的な活動控えにより実績値が低くなった。	2点
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった			市民ニーズは令和3年1月に「スポーツに関する市民アンケート」を実施し、「吉川市スポーツ推進計画」を策定する際に反映した。	3点
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった			・気軽にできる運動への参加機会提供から各種スポーツ団体の支援まで、幅広い事業で構成されており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題				<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 事務事業構成 施策評価 レーダーチャート </div> </div>	
・新型コロナウイルス感染症拡大防止を適切に講じながら、引き続きスポーツ実施機会の提供をしていく必要がある。 ・スポーツ施設の経年劣化に伴い、計画的な修繕などの適切な維持管理が求められている。					3点
					評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 2 - 7		
基 本 事 項	施策名	第7節 地域医療体制の充実		所管部署名	健康長寿部	
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）		評価責任者	小林 以津己	
	施策小項目	1	医療情報の発信	関連部署名(1)	健康長寿部健康増進課	
		2	救急医療体制の充実	関連部署名(2)	健康長寿部長寿支援課	
		3	在宅医療の推進	関連部署名(3)		
			関連部署名(4)			
施策の目的	だれもが適切な医療を受けられる環境の整備をめざす。		役割分担	市民の役割	行政が発信する地域医療体制に係る情報を主体的に取り入れることに努める。	
施策に関する個別計画				行政の役割	関係機関と連携を図り、地域医療体制を整備し、適正な保健・医療サービスを提供する。	

区分	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)							
①	かかりつけ医を持っている市民の割合		%	56.5	61.7	57.7	D	60.0
	増加することが良いとされる指標			H28	R2	R3		R3

施策の評価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 1点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	評価理由・説明	日常的に「かかりつけ医」を持つことの重要性について理解が進み、ほぼ目標値に達することができた。	3点
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		健康について広く相談できる「かかりつけ医」は、市民の健康管理に重要であるが、「かかりつけ医」を持たない理由として、症状に応じて医療機関を選択するからなどが多い。	3点
施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		医療機関が診療時間外に医療を提供することや、救急医療体制を整備することは、地域医療体制の充実に資する。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点
施策に関する現状と課題	埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会において救急医療体制の整備を図っているが、今後、小児救急医療を担う医療機関の不足が懸念される。		総合評価	3点
			成果指標達成度 事務事業構成 施策進捗度 市民ニーズ反映度 施策評価レーダーチャート	評価軸①~④の評価点の平均点

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 2 - 8	
基本事項	施策名	第8節 健康保険・年金による社会保障	所管部署名	健康長寿部	
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）	評価責任者	小林 以津己	
	施策小項目	1 国民健康保険給付の適正化	関連部署名(1)	健康長寿部国保年金課	
		2 国民健康保険財政の健全運営	関連部署名(2)	健康長寿部健康増進課	
		3 国民年金の制度周知	関連部署名(3)		
施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病気、怪我等への保険給付を適切に行うことにより、生活の安定と福祉の向上をめざす。 ・ 老後の生活を支える年金制度が安定的に維持されることをめざす。 		役割分担	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診を受診するなど健康への関心を高め、自身の健康を維持増進することに努める。 ・ 国民健康保険や年金制度に対する理解に努める。
施策に関する個別計画	第3期吉川市国民健康保険特定健康診査等実施計画（平成30年度～令和5年度）				行政の役割

区分	指標名（上段）	単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質（下段）						
指標	被保険者一人当たりの医療費	円	327,505	355,198	371,590	A	433,068以下
	目標値を下回ることが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3

施策の評価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（50~80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	理由・説明	・ 目標指標である「被保険者一人当たりの医療費」については、特定健診や特定保健指導をはじめとする保健事業の実施や高額薬剤の基準の見直し等により、目標値を大幅に下回ることができた。	4点
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		・ 健康保険については、法で定められた給付を適切に行うことにより、生活の安定と福祉の向上をめざすことを目的としており、市民意識調査の市民サービスへの取組の満足度を判断基準とした。	3点
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		・ 役割分担における、行政の役割を構成する事務事業を設定しており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題	・ 被保険者の高齢化や医療技術の高度化等の影響により、医療費は今後も増加することが見込まれることから、被保険者の健康の保持・増進に繋がる取り組みをさらに充実させ、医療費の伸びを抑制していく必要がある。 ・ 将来にわたり安定的な運営が可能となるよう、医療費適正化対策等の一層の取組強化を図る必要がある。		4 成果指標達成度 2 施策進捗度 0 市民ニーズ反映度 施策評価レーダーチャート	総合評価 4点
				評価軸①~④の評価点の平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値			
構 成	1	402111	特定健康診査等事業	2	特定健康診査受診率	%	48.0	42.3	現状のまま継続
	2	403203	特定保健指導事業	1	初回特定保健指導実施率	%	68.0	49.4	現状のまま継続
	3	402302	国民健康保険資格管理事業	2	1人当たり点検効果額	円	1,319	1,338	現状のまま継続
	4	402301	賦課徴収事業	2	現年度国民健康保険税収納率	%	95.2	95.3	手段を改善
	5	402404	国民年金啓発事業	1	市広報紙への掲載率	%	100.0	100.0	現状のまま継続
す る									
事 務									
事 業									

特記事項

- ・国民健康保険税の収納率のさらなる向上を図るため、令和2年度においてペイジー口座振替サービスに用いる端末を購入し、市役所で国民健康保険税の口座振替の申し込みができるようにした。

今後の展開

- ・被保険者の健康の保持・増進を図り、医療費の適正化を図るためには、特定健診の受診率を向上させることが重要である。今後は未受診者対策での受診勧奨においては、受診勧奨の効果が見込まれる方を対象に絞り込むなどして、次年度以降にさらに効果的な受診勧奨に繋げていく。
- ・国民健康保険財政を安定的に運営していくため、「吉川市国民健康保険財政健全化計画」に基づき、医療費・保険給付の適正化の推進や国民健康保険税の適正な賦課等の取組の強化を図っていく。
- ・国民健康保険制度や国民年金制度は複雑であり、制度改正も頻繁に行われることから、制度が正しく理解されるよう、広報やホームページの活用、他の施策と併せた啓発の他、個々の問合せや相談に対し、引き続き丁寧に対応していく。
- ・今後は、国保の被保険者を対象としての施策だけでなく、全市民を対象にして健康づくりや他の施策と併せてさらなる効果的な実施に繋げていく。

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日	令和4年10月31日	No.	2	-	9	
基 本 事 項	施策名	第9節 自立支援と生活保障	所管部署名	こども福祉部		
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）	評価責任者	伴 茂樹		
	施策小項目	1 生活保護制度の適正な運用		関連部署名(1)	こども福祉部地域福祉課	
		2 生活困窮者自立支援事業の充実		関連部署名(2)		
				関連部署名(3)		
			関連部署名(4)			
施策の目的	生活を保障するとともに、経済的自立や日常生活の自立、社会生活の自立を助長する。		役割 分担	市民 の 役	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾病の治療、回復及び健康保持に努める。 ・ 生活の自立に向けた求職活動等に努める。 	
施策に関する個別計画				行政 の 役	生活保護費を支給する。 就労支援等、自立に向けた支援を行う。	

区分	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
指 標	生活保護受給者および生活困窮者のうち就労を契機に生活の自立を達成した人の割合	%	13.0	28.11	23.95	A	18.0
	増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3

施 策 の 評 価	評価軸	評価方法	評価点
		評価軸 ① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。
	評価軸 ② 施策の 進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	4点
	評価軸 ③ 市民ニーズ の反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	4点
	評価軸 ④ 施策に対する 事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	4点
	施策に関する現状と課題		総合評価
	生活保護受給者の援助方針を定め、家庭訪問や関係機関との連携、他法制度の活用により、経済的自立、日常生活の自立、社会生活の自立を目指した支援を行った。 令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者への支援を拡大し生活支援を行ったが、今後は、社会経済活動の平常化に於いての生活困窮、生活保護の動向については注視する必要がある。		4点
			評価軸 ①~④の 評価点の 平均点

